

iPS細胞による再生医療等の 技術開発応援プロジェクトについて

(プロジェクト概要・寄附金の活用事例)

京都府 商工労働観光部
ものづくり振興課



1 プロジェクト概要（京都府）

◆募集期間

令和5年10月2日～令和5年12月31日

◆目標額

22,000千円

15,000千円: iPS財団への支援

7,000千円: 社会課題解決

() は昨年度実績

(21,600千円)

(3,162千円)

これまでご支援いただいた皆さま、心より感謝申し上げます。

◆特典

寄附額のうち2,000円を超えた額について所得税・住民税控除（条件有）

※本社所在地が京都府外の企業の場合、寄附額の最大9割の税軽減効果がある「企業版ふるさと納税」も可

◆寄附サイト

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」

▼京都府プロジェクトページURL

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2616>



皆様からの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

2 趣旨・寄附スキーム

趣旨

目的

手段

再生医療等の産業振興を図る

難病等に苦しむ世界中の人々が待ち望むiPS細胞技術を「誰もが受けられる医療」にする等

ふるさと納税制度

県や市に寄附して、
条件を充足した方には
税控除有



クラウドファンディング

事業資金の用途を指定し、
賛同者から寄附を募る

寄附金の使途

寄附者

寄附

京都府

(1) iPS細胞技術を活かした
再生医療等の推進
及び関連産業の振興
(iPS財団へ支援)

(2) 社会課題の
解決に取り組む
企業支援等
(AI・IoT等のスマート技術
に関わる企業支援等)

3 寄附金の活用事例

以下のiPS細胞の活用事例は間接的な支援先です

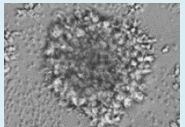
iPS細胞の活用① 再生医療

傷ついた細胞を再生させる

サイアス (株)

iPS細胞からがん抑制等に有効な免疫細胞を作製、**がん免疫療法の治験に向け技術を確立中。**

免疫拒絶を完全に回避する機能を有するiPS細胞から再生T細胞へ分化誘導する技術を活用し、開発中の固形がんを標的疾患とした細胞治療製品は、既存療法に無効な種々の固形がん罹患患者に対して有効な治療手段となることが期待される。



足りない組織を大量につくる

(株)メガカリオン

輸血に必要な血小板をiPS細胞から作製、安定供給し**献血不足の解消へ**



iPS細胞の活用② 病気の原因究明

患者のiPS細胞で病気の原因を研究

マイキャン・テクノロジーズ (株)

新型コロナウイルス感染症の新薬・ワクチン開発に向け、血液由来 (※) のウイルス研究用の培養細胞を**研究機関に無償提供**

(※) iPSで確立した技術を応用したものです



3 寄附金の活用事例

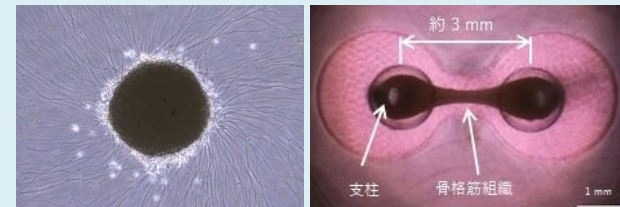
以下のiPS細胞の活用事例は間接的な支援先です

iPS細胞の活用③ 新薬開発

患者のiPS細胞で薬の有効性をはかる

(株) 幹細胞 & デバイス 研究所

国家戦略特区の事業認定を受け、患者様血液由来のiPS細胞から、神経や骨格筋の稀少疾患を細胞レベルで再現し、**治療薬候補物質を探索**



社会課題解決に取り組むスタートアップ を支援

増加する妊婦・経産婦の自殺,うつ病を予防

(株) Famileaf

日々の**ヘルスデータをアプリで管理**し、健康的なマタニティライフを支援

